

平成26年度 障害者自立支援協議会の開催状況について

1 本会議の開催状況について

(1) 第1回 平成26年10月9日(木)

ア 議題

- (ア) 障害者自立支援協議会の専門部会活動状況等について
- (イ) 第4期愛知県障害福祉計画の策定について

イ 報告事項

- (ア) 相談支援アドバイザー会議の検討状況について
- (イ) 計画相談の実施状況について
- (ウ) 愛知県特別支援教育推進計画について
- (エ) 技能五輪・アビリンピックあいち大会2014について

(2) 第2回 平成27年 2月5日(木)

ア 議題

- (ア) 障害者自立支援協議会の専門部会活動状況等について
- (イ) 第4期愛知県障害福祉計画の策定について

イ 報告事項

- (ア) 相談支援アドバイザー会議の検討状況について
- (イ) 計画相談の実施状況について
- (ウ) サービス管理責任者等の定着率について
- (エ) コロニー再編計画の進捗状況について
- (オ) 障害者差別解消法について
- (カ) 障害者就業・生活支援センター設置状況について

2 専門部会の活動状況について

(1) 地域生活移行推進部会の活動状況について

- ア 開催日
- | | |
|-----|---------------|
| 第1回 | 平成26年4月30日(水) |
| 第2回 | 平成26年7月11日(金) |
| 第3回 | 平成26年9月 3日(水) |
| 第4回 | 平成27年1月29日(木) |

イ 主な活動内容

グループホーム整備促進支援制度の実施について
(参考資料A参照)

ウ 本会議における主な委員意見

- グループホームの立ち上げに際し、地域住民から反対の声が上がる場合を想定した地域への働きかけが必要
- 災害時に地域の方から助けていただくためにも、平時から少しずつでも地域の方から力を借りる仕組みがあるとよい。
- 地域住民への説明会に行政が関わってくれたことにより、うまくいったケースがあった。
- 地域移行というのは、グループホームだけではない。
- 精神障害のある方の地域移行は、医療分野との連携が必要であり、腰をすえた検討をお願いしたい。
- 精神科病院の患者さんの地域移行は、患者さん方のニーズ、御家族のニーズを捉えながら、しっかりと対応していく必要がある。
- グループホーム整備促進支援制度によって、地域で勉強会が開催されるなど、地域の活動が活性化されてきている。

(2) 人材育成部会の活動状況について

- ア 開催日 第1回 平成26年6月 3日 (火)
第2回 平成26年9月25日 (木)
第3回 平成27年2月 3日 (火)

イ 主な活動内容

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修等の実施について
(参考資料B参照)

ウ 本会議における主な委員意見

- 県の研修体制は整ってきたが、市町村や圏域で人材育成の取組を進めていくことが必要
- 東三河南部圏域では、昨年度から豊橋で研修を実施しているが、近くでの研修ということで好評を得ている。今後は、県の研修とリンクした、その地域に必要な研修に取り組んでいきたい。
- 障害のある方、地域の方が参加できるようなシンポジウムとか、勉強会というもの開いていただきたい。
- 福祉分野、医療分野のそれぞれで研修を実施するのではなく、一緒に参加できるような研修が行われるとよい。
- 強度行動障害支援者養成研修について、問題行動イコール強度行動障害と捉えられ、強度行動障害という言葉が独り歩きしてしまうのが心配